



大津JCT(仮称)付近



八幡京田辺JCT・IC付近



城陽市



淀川河川敷内

新名神高速道路の工事現場

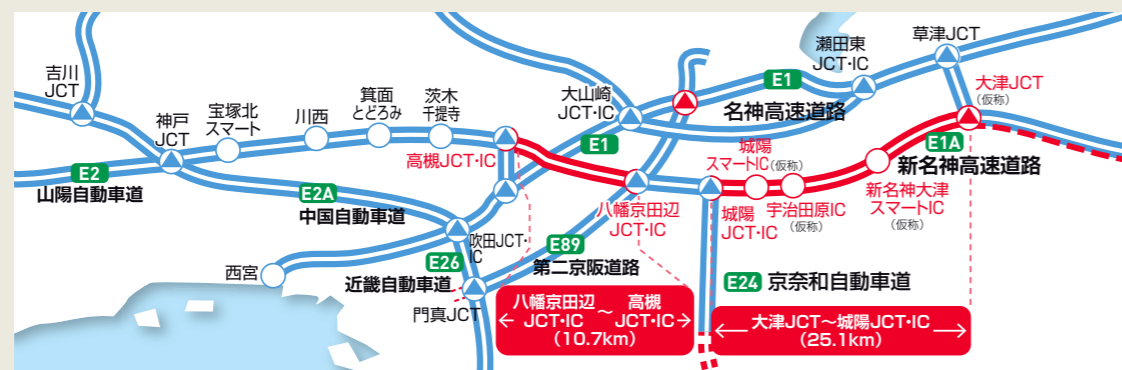
## 高速道路ネットワークの着実な整備

当社では、地域の発展と、暮らしや利便性の向上に貢献するため、より安全で使いやすい高速道路ネットワークを構築することを目的とし、新名神高速道路などを含む6道路71kmの区間の新設事業及び阪和自動車道など13道路155kmの区間の6車線化及び4車線化事業を行っています。

以下に代表的な3つの事業区間について紹介します。

### 1 新名神高速道路（大津～城陽、八幡京田辺～高槻）

1963年の栗東IC～尼崎ICの開通以来、日本の産業と社会を支え続けてきた名神高速道路の多重化をめざし、「未来につなぐ信頼の道」新名神高速道路の整備を進めています。現在大津JCT（仮称）～城陽JCT・IC及び八幡京田辺JCT・IC～高槻JCT・IC間は、用地取得及び工事に着手するなど地元の皆さまのご理解をいただきながら、着実に事業を進めています。



### 2 播磨自動車道（播磨新宮～山崎）

播磨新宮IC～山崎JCT間は、鳥取県と兵庫県、岡山県の南北の連携が強化されることに加え、中国自動車道と山陽自動車道の結びつきを強めることを目的とした延長約12kmの事業です。

現在、全線にわたり工事に着手しており、引き続き、地元の皆さまや関係行政との協議を進めながら、さらに工事進捗を図っていきます。



播磨自動車道 播磨新宮IC付近

### 3 四国横断自動車道（徳島東～徳島）

徳島東IC～徳島JCT間は、高松自動車道・徳島自動車道及び新直轄方式で整備されている阿南～徳島東IC間を結び延長約4kmの事業です。

この整備により、四国東部における広域ネットワークが構築されることで、地域間交流の強化、沿線道路の渋滞緩和、災害時の代替機能の強化などが期待されています。



徳島自動車道 徳島東IC～徳島JCT(吉野川)

## TOPICS 新名神高速道路の整備効果

### ① 大動脈のダブルネットワーク化



高速走行による所要時間の短縮、時間信頼性の向上、事故・災害時における代替路の確保といった効果があります。

### ② 並行路線の渋滞緩和

名神高速道路(上り線)京都東IC付近 京滋バイパス(上り線)宇治TN付近

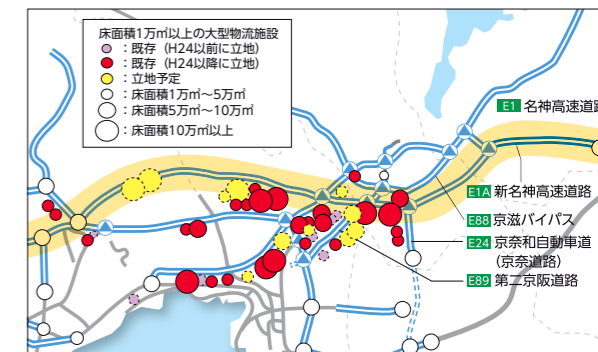


名神高速道路・京滋バイパスの渋滞緩和が期待されます。

新名神高速道路 高槻JCT・IC～神戸JCTの開通により、並行する中国自動車道の渋滞回数が約75%減少

### ③ 物流の生産性向上

新名神高速道路の周辺では、大規模物流施設の立地が増加し、新たな物の流れが生まれています。



物流拠点の立地状況

### ④ 観光の活性化への寄与

新名神高速道路の整備により、観光地へのアクセス性が向上し、観光産業の活性化、地域の活性化が期待できます。



(公社)びわこビジターズビューロー





4車線化完了前の状況  
長崎自動車道 長崎芒塚IC～長崎多良見IC

4車線化完了後の状況

### さらなるネットワーク強化の取り組み

当社では、暫定2車線区間における交通渋滞の解消や安全性のさらなる向上を目的とし、渋滞や事故が多く発生している区間から順次、4車線化を進めています。2019年度は、長崎自動車道長崎芒塚IC～長崎多良見ICの8.3kmにおいて4車線化の工事を完了し、既存ネットワークの強化に取り組んでいます。

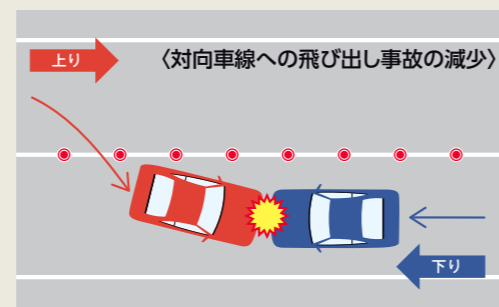
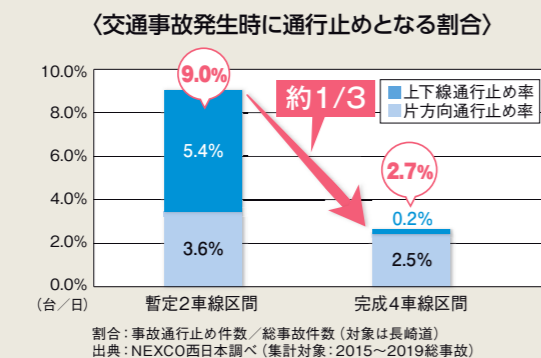
#### ■長崎自動車道（長崎芒塚IC～長崎多良見IC）4車線化工事の完了

2004年に暫定2車線区間で開通した長崎自動車道長崎芒塚IC～長崎多良見ICでは、交通量が約1.5倍に増加していくなかで、様々な課題が顕在化したため、2012年より4車線化工事に着手しました。そして、2019年6月28日、すべての工事が完了し、4車線での走行が可能となり効果が現れています。



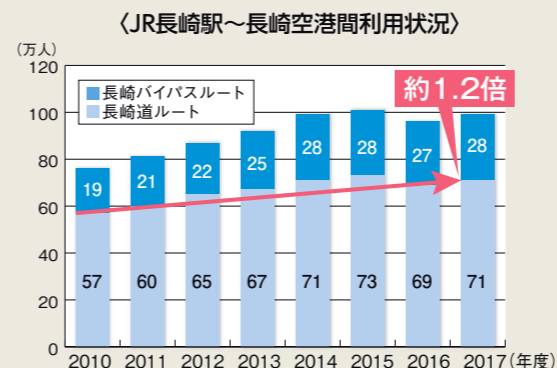
#### ①安全性のさらなる向上

中央分離帯が設置され、対向車線への飛び出し事故の防止などにより、交通事故の減少とともに、死亡事故などの重大事故の減少により安全性が向上しています。



#### ②定時性のさらなる向上

長崎空港から長崎市内へ向かう高速バスは、長崎道ルートの利用が多く年々利用者が増加し、2010年度から約14万人増加（1.2倍）しています。このように長崎空港と長崎市内の移動で重要な役割を担っている高速バスは、飛行機の出発・到着時間に合わせて運行されているため、4車線化による定時性のさらなる向上が期待されます。



長崎自動車道の完全4車線化に長崎県営バスは大いに期待しています。



長崎県交通局（長崎県営バス）

長崎自動車道の完全4車線化は、観光立県の長崎県にとって、車の流れがスムーズになり一層の観光客の来県が望めます。特に長崎県営バスは、九州各県とを結ぶ高速バス、県内拠点都市を結ぶ都市間輸送バス、空港リムジンバス、貸切バスを運行している中で、利用頻度も多く、定時性の確保にもつながり大いに期待しているところです。

### TOPICS

#### 後続車無人隊列走行の実現を見据えた整備 ～新名神高速道路の6車線化の推進～

物流業界では、近年、トラックドライバー不足が深刻化するなかでの労働生産性の向上や働き方改革の実現など短時間で長距離の輸送を可能とし、輸送効率の向上に寄与する高速道路の重要性が高まっています。

現在、後続車無人隊列走行システム（東京～大阪間）の商業化が進められており、実現に向けた安全で円滑な走行区間の確保などの観点から新名神高速道路の6車線化等を進めています。

